

平成 21 年 5 月 11 日現在

研究種目：基盤研究(C)
 研究期間：2007～2008
 課題番号：19530764
 研究課題名（和文）
 現代アメリカにおける道德教育のポリティクス：批判的教育研究から見た人格教育の諸相
 研究課題名（英文）
 The Politics of Moral Education in the United States: A Critical Study of Character Education
 研究代表者 澤田稔 (SAWADA MINORU)
 名古屋女子大学・文学部・准教授
 研究者番号：00367690

研究成果の概要：アメリカ合衆国において近年注目されてきた人格教育と呼ばれる道德教育の動向を文献及び実地調査によりその具体的な姿を明らかにし、これを批判的教育研究という観点から政治学的要因を踏まえて分析した。批判的教育研究の基礎理論や政治学的諸問題に関しては論文として発表し、人格教育の分析は学会発表により明らかにした。

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	1,400,000	420,000	1,820,000
2008年度	600,000	180,000	780,000
年度			
年度			
年度			
総計	2,000,000	600,000	2,600,000

研究分野：教育学

科研費の分科・細目：比較教育学

キーワード：批判的教育学 アメリカ 道德教育 人格教育 政治学 リベラリズム

1. 研究開始当初の背景

アメリカ合衆国では、NCLB法に人格教育に関する項目が設けられるほど、この種の道德教育に注目が集まっていた。同時に、批判的教育研究の分野では、簡略な形でだが、批判的に論及されることが多かった。一方、日本では、保守的な思潮のなかで、この種の道德教育の日本への導入を考える向きも見られていたが、包括的批判的研究はまだ現れていない状態であった。

2. 研究の目的

1990年代以降のアメリカ合衆国（以下、ア

メリカと略記）において際立った展開を見せている「人格教育(character education)」と呼ばれる道德教育（「品性教育」とも訳される）の推進動向と、その社会政治的背景を、同国における批判的教育研究の観点から分析し、この分析を通して、価値観が多様化する現代社会における道德教育-とりわけリベラリズムの理念に即した道德教育-の理論的・実践的可能性を検討することを目的としていた。

3. 研究の方法

文献研究だけでなく、人格教育の推進に熱心な学校における実地取材をすることで、また、

教育委員会の担当責任者との面会等を通じて、人格教育の具体的な様相をできるだけ明確化することに努めた。

4. 研究成果

計5本の雑誌論文（書評1を含む）、1本の書評、1回の学会発表により成果を発表したが、最終目標到達点の内容は、学会発表でまとめられたに留まり、論文を発表することはまだできていない。今年度の課題である。

そのなかで、NCLBというテスト体制と人格教育という保守的道德教育が、ネオリベとネオコンという政治的カップリングとして機能しているという仮説的視点を明確化することができた。その十分な論証を論文執筆のなかで、ひきつづき行う予定である。

他方、リベラリズムにもとづく道德教育の可能性に関しては、新資料が年度末に発見できたので、これを踏まえて今後も学会等に発表して行く予定である。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 5 件）

澤田稔 「書評 マイケル W. アップル著／野崎他訳『オフィシャル・ノレッジ批判：保守復権の時代における民主主義教育』平成19年10月『アメリカ教育学会紀要』第18号（アメリカ教育学会）pp.98-101

澤田稔 「アメリカ合衆国における批判的教育研究の諸相（1）：ヘンリー・ジルーの教育論に関する批判的再検討（上）」平成20年3月『名古屋女子大学紀要（人文・社会編）』第54号 pp.57-70.

澤田稔 「アメリカ合衆国における批判的教育研究の諸相（1）：ヘンリー・ジルーの教育論に関する批判的再検討（下）」平成20年3月『名古屋女子大学紀要（人文・社会編）』第54号 pp.71-80

澤田稔 「カリフォルニア州の就学人口増対策教育行政に関する政治経済学的研究」平成20年11月『アメリカ教育学会紀要』第19号（アメリカ教育学会）pp.65-79

澤田稔 「アメリカ合衆国における批判的教育研究の諸相（2）：マイケル・アップルの教育論

に関する予備的考察（上）」平成21年3月『名古屋女子大学紀要（人文・社会編）』第55号 pp.59-72.

〔学会発表〕（計 1 件）

澤田稔 「現代アメリカ合衆国における道德教育のポリティクス—批判的教育研究から見た人格教育の諸問題」平成20年7月 日本カリキュラム学会第19回大会（鳴門教育大学）

〔図書〕（計 1 件）

石浜西小学校編『多文化共生の学校を創る』（黎明書房、2008年）

〔産業財産権〕

○出願状況（計 件）

○取得状況（計 件）

〔その他〕

6. 研究組織

(1) 研究代表者

澤田 稔 (SAWADA MINORU)

名古屋女子大学・文学部・准教授

研究者番号：00367690

(2) 研究分担者

(3) 連携研究者